

# 第40期 中間報告書

2020年1月1日～2020年6月30日

証券コード4641

人が未来-Next Technology Frontier®

 Alps 株式会社アルプス技研

# Heart to Heart

社会や企業の発展も、  
個人の成長も技術開発も、  
すべて正しい人間関係が  
基本であることを認識し  
「人と人との心のつながりを  
大切にしよう」という意味を  
表しています。

## ごあいさつ To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、ますます  
ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より  
格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに「第40期中間報告書」をお届けするに  
あたり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

今村 篤

第40期第2四半期（2020年1月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により極めて厳しい状況で推移しました。

当社グループの主要顧客である大手製造業各社においても厳しい状況ではありますが、多くの主要企業は研究開発投資を維持しており、特に5G、ネットワーク関連の需要拡大を受けた半導体や、先端技術関連のソフト開発、感染症対策に伴う医療系分野の需要が堅調に推移いたしました。一方、自動車関連分野において、次世代車向けの研究開発スピードは一部に鈍化が見られました。

このような環境の下、当社グループは、2020年度の事業方針に「変化の先を読み、現場力で限界突破 ～多様な人材が連携し、スピード感をもって自ら動く～」を掲げ、

さらなる最高業績の更新を達成すべく邁進しております。5月には（株）DONKEYを関連会社とし、7月には（株）デジタル・スパイスがグループ入りするなど、積極的な事業展開を進めております。

下期におきましても、一層不透明感が増す中で、当社グループの強みである変化の先を予測し、グループ一丸となってコロナ禍を乗り越え、新たな未来に向け着実に成長を遂げてまいります。

これからも株主の皆様のご期待にお応えできるよう、全力で取り組む所存でございますので、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年9月



(株) デジタル・スパイス <https://www.digital-spice.co.jp/>

2020年7月、当社グループに(株) デジタル・スパイスが加わりました。



#### ■ 会社概要

商号 株式会社デジタル・スパイス  
 所在地 〒392-0012  
 長野県諏訪市大字四賀1821番地松木ビル2F  
 設立 2001年7月10日  
 代表者 須藤 泰志



#### ■ 事業内容

■ ソフトウェア開発 ■ 設計・製造 ■ 技術者派遣

同社はデジタル技術をコアに設計開発の一連の業務を行っており、近年は宇宙の小型探査機（はやぶさ）の開発にも携わっています。

今後は当社とのシナジーを強化していくことで、当社グループの企業価値をより一層高めてまいります。

#### アルプス技研×デジタル・スパイスのグループシナジー & 今後の展望

- ▶ ものづくり事業の強化
- ▶ 航空宇宙関連の顧客開拓促進に向けた営業連携
- ▶ 受託した事業への人材支援をグループでバックアップ
- ▶ グループ全体での採用連携による体制強化



(株) DONKEY <https://www.donkey.co.jp/>

2020年5月、当社は(株)DONKEYを関連会社といたしました。

■ 会社概要

商号 株式会社DONKEY

所在地 〒252-0131  
神奈川県相模原市緑区西橋本五丁目4番21号  
さがみはら産業創造センターSIC-1 1103

設立 2020年3月19日

代表者 山本 秀勝

■ 事業内容

- 自律多機能型ロボットの  
研究開発～販売
- データ活用サービスの提供

出資企業(50音順)

(株)アルプス技研、情報技術開発(株)、  
(株)日本総合研究所、ユアサ商事(株)、  
渡辺パイプ(株)

日本の中規模農家は機械化が進んでおらず、労働力不足や収益性の低下が課題となっていました。その課題を解決すべく、農業者の作業を支援する自律多機能型ロボット及び関連サービスの提供を行い、農業経営体の生産性向上と事業拡大に貢献してまいります。



小型多機能型農業ロボット「DONKEY」



荒地や畑等でも安定走行できる自律多機能型ロボット。収穫物を乗せ、農業者を追従できるため、作業負担の軽減が可能。

DONKEY今後の展望

- ▶ 農業者と作物をつなぐ
- ▶ 農業者とともに成長する
- ▶ 地域とともに栄える

以上のビジョンを掲げ、高齢化が進む日本の農業者を技術で支え、農業界の抱えている課題を解決していきます。

# 1 当社グループのリスクマネジメント

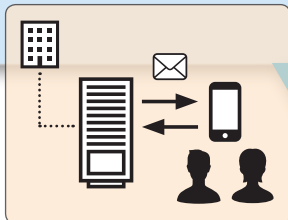
当社グループでは、地震や自然災害、テロ攻撃などの緊急事態に備えてBCP(事業継続計画)を策定し、事業運営上のリスクに対応しております。今年に入り急拡大した新型コロナウイルス感染下においても、安定的に事業を継続すべく、様々なリスク管理を推進しております。

## ▶ BCP

1 本社部門、拠点（国内・海外）などあらゆる状況下で感染症が発生した場合に備え、BCP「集団感染編」を策定し周知。

## ▶ 定期的な安否確認訓練の実施

3 毎年3月と9月の年2回、安否確認訓練を実施。回答率は100%。



## ▶ 新型コロナウイルス感染症対策本部の設置

2 2月に社長を本部長とする対策本部を設置。日々刻々と変わる感染状況を把握し、的確に対応策を検討、実施中。

## ▶ リスク管理委員会の定期開催

4 グループ全体の業績に影響を及ぼすリスクの特定・分析・評価・ヘッジ等の対策を行うため、リスク管理委員会を定期開催。

## 2

# コロナに立ち向かう！～当社グループの様々な施策～



### 安心できる勤務環境の整備

- ① オフィス内感染症対策の一環で、アクリルボードやビニールシートを設置
- ② 一部研修室を執務スペースとして代用し、3密を防御
- ③ 在宅勤務、時差出勤の推進



オフィス内の飛沫防止用ビニールシート

### 長期的なキャリア形成を実現するための施策

- ① リーマンショック時と同様、一切リストラを行わず技術者の雇用を維持
- ② 休業を命じられた技術者の処遇維持



### コロナ禍でも活躍する人材の採用・育成

- ① 採用: オンライン説明会・懇談会の積極的な実施
- ② 教育: 新卒向けオンライン技術研修、全社員用e-ラーニングの実施
- ③ 営業: web面談による技術者のきめ細かいサポート、HPでのオンライン商談PR



採用担当とのオンライン懇談会



当社講師による新卒向けオンライン技術研修



HPで受付中のオンライン商談



### 3 コロナ禍で一層高まる農業人材ニーズ

コロナ禍で就農可能な外国人技能実習生等の来日が困難となり、農業分野での深刻な人手不足が顕在化しています。そこで、先駆的に当事業を推進してきたグループ会社「(株)アグリ&ケア(以下、A&C)」が高まる農業人材ニーズにお応えすべく、アグリテック・就農人材とのマッチング強化の取り組みを進めております。

#### ① 北海道短期おしごと情報サイトへの参加(A&C)

##### URL

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/jzi/oshigoto.htm>



#### ② 農林水産省「援農者緊急確保支援事業」への参画(当社、A&C)

##### URL

[https://for-farmer.jp/partner\\_list/](https://for-farmer.jp/partner_list/)



### 4 健康経営優良法人2020(大規模法人部門)に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定されました。

当社は創業以来、人材を大切な経営資源と捉え、高度技術サービスを提供してまいりました。会社の持続的且つ健全な発展のためには、社員とその家族の健康維持が不可欠と認識し、2018年に「健康経営宣言」を制定し、会社と社員が一体となり様々な健康づくりを推進しています。



#### 健康増進のための取り組み

- ・社員と配偶者の人間ドック受診補助拡充
- ・子育て、介護支援の質の向上 など

#### 職場の活性化、コミュニケーション促進のための取り組み

- ・フットサル大会(アルプスカップ全国大会)
- ・地域サークル活動 など



# CSRActivities

企業の社会的責任

様々な社会貢献活動にも、積極的に取り組んでおります。

当社は、良き企業市民でありたいとの理念から、財団やNPO法人を通じ様々な分野での社会貢献活動を推進し、地域社会の要請と信頼にお応えしております。

当社の経営理念は『Heart to Heart』です。

事業を通じた環境保全・社会貢献活動はもちろん、様々なシーンで「人と人、人と自然のつながり」を大切に活動への参加や支援を幅広く行っております。



## 1月 新春餅つきハイキング

当社では、子供たちやその家族、高齢者に向けて自然の恩恵や人の心を感じる機会を提供することを目的に、NPO法人の活動を支援しております。



恒例の新年餅つきハイキングを行いました。

自然を感じながら歩き、富士見茶屋で餅つきをしました。



公益財団法人  
とかち財団

当財団は起業家人材の育成を通じ、十勝の地方創生・地域活性化を推進してまいります。

## 1月 フードバレー十勝首都圏プロモーション事業

帯広市主催のイベントにて当社創業者 最高顧問 松井利夫が協賛者代表挨拶を行い、十勝への想い、移住の勧めについて熱く語りました。

Tokachi



帯広・十勝  
本気の移住実現  
プログラム



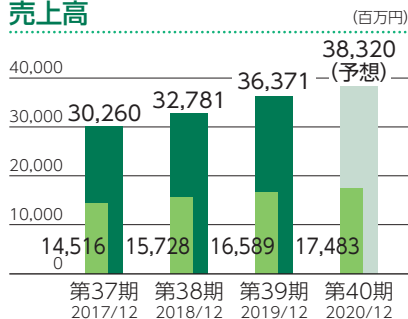
## 4月 相模原市へ寄付

当社創業者 最高顧問 松井利夫が新型コロナウイルス治療にあたる病院への医療物資提供のための寄付金として、創業の地である相模原市に1億円の寄付を行いました。

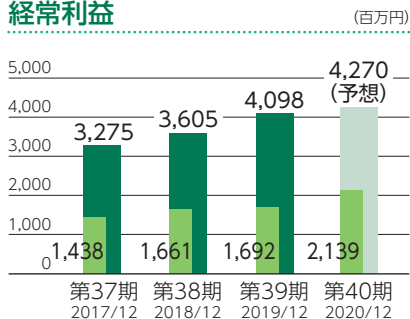
左：相模原市長 本村賢太郎氏 右：当社創業者 最高顧問 松井利夫

# 連結財務ハイライト Financial Highlights

## 売上高

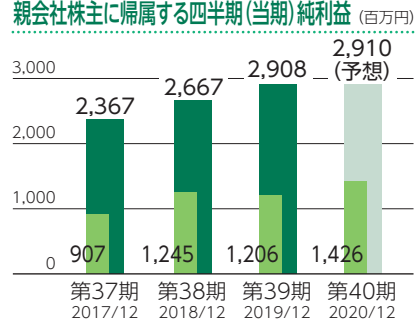


## 経常利益

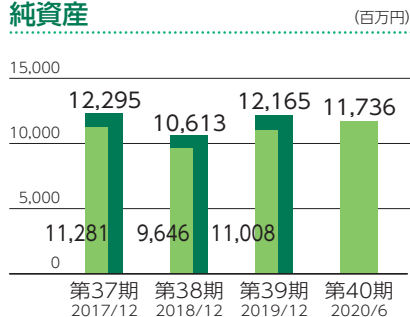


■ 第2四半期 ■ 通期 (第40期は予想)

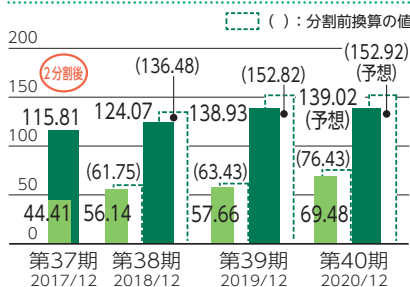
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



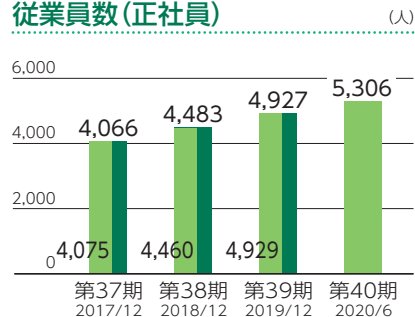
## 純資産



## 1株当たり四半期(当期)純利益※ (円)



## 従業員数(正社員)



※2018年1月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割しているため、第37期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、第37期は分割後の数値を掲載しております。また、2019年7月1日を効力発生日として普通株式1株を1.1株に分割しているため、第38期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、第38期～第40期は分割後及び分割前換算の数値を掲載しております。

## 主な上期トピックス

### グループ新卒

人材の質を重視した早期採用・グループ連携の推進により、新たに約400名の社員が入社。

### 自己株式の取得(2月)

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とすべく自己株式の取得を実施。

### RS実施に伴う自己株式処分(4月)

長期的な企業価値向上に資する施策としてRSを継続実施。※RS…譲渡制限付株式報酬

### アルプスビジネスサービス優良派遣事業者認定更新(3月)

国内子会社「(株)アルプスビジネスサービス」が指定審査機関より「優良派遣事業者」として更新認定。

## 第40期(当第2四半期連結累計期間)の事業の状況 (2020年1月1日~2020年6月30日)

当社グループの中核である技術者派遣事業では、採用施策の強化、優秀な技術者の確保に努めました。また、全社で高稼働率の維持及び契約単価の向上、チーム派遣や、外国人社員の活躍推進等の営業施策に取り組んだ結果、稼働率は高水準を維持し、稼働人数、契約単価ともに上昇いたしました。一方で、感染症拡大防止対策により、稼働工数は減少いたしました。

これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第2四半期連結累計期間の

売上高は174億83百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は感染症拡大の影響による出張旅費や集合型研修費用等の削減により、17億85百万円（同8.6%増）となりました。経常利益は、一部技術者の休業に伴う雇用調整助成金収入も加わったことから、21億39百万円（同26.4%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億26百万円（同18.3%増）となりました。

### ●●セグメント別の状況（連結）

<p>アウトソーシング サービス事業</p>	<p>売上高 <b>170億33</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>17億26</b>百万円</p> <p>優秀な人材の確保、契約単価の改善等の採用・営業施策に注力した結果、感染症拡大の影響で一部休業の発生や残業抑制により稼働工数は減少したものの、稼働人数は増加し、契約単価も上昇したため、増収増益となりました。</p>	<p><b>事業内容</b></p> <p>当社グループの中核である技術者派遣事業を中心とした派遣及び請負による技術提供業務</p>
<p>グローバル事業</p>	<p>売上高 <b>4億50</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>57</b>百万円</p> <p>工事案件が計画通り検収されたことから、増収増益となりました。</p>	<p><b>事業内容</b></p> <p>海外の日系企業等に対する、生産設備等の据付業務及びメンテナンス業務並びに人材サービス</p>

# 第40期 第2四半期 連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(百万円)

区 分	当第2四半期末 (2020年6月30日)	前期末 (2019年12月31日)	区 分	当第2四半期末 (2020年6月30日)	前期末 (2019年12月31日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>12,723</b>	<b>13,405</b>	<b>流動負債</b>	<b>6,777</b>	<b>6,988</b>
現金及び預金	6,806	7,442	<b>固定負債</b>	<b>318</b>	<b>317</b>
受取手形及び売掛金	5,042	5,382	<b>負債合計</b>	<b>7,096</b>	<b>7,305</b>
仕掛品	135	155	<b>(純資産の部)</b>		
原材料及び貯蔵品	0	0	<b>株主資本</b>	<b>11,456</b>	<b>11,870</b>
その他	739	426	資本金	2,347	2,347
貸倒引当金	△ 2	△ 2	資本剰余金	3,066	3,060
<b>固定資産</b>	<b>6,110</b>	<b>6,066</b>	利益剰余金	11,056	10,425
有形固定資産	3,209	3,257	自己株式	△ 5,013	△ 3,963
無形固定資産	402	437	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>256</b>	<b>272</b>
投資その他の資産	2,497	2,371	その他有価証券評価差額金	246	257
<b>資産合計</b>	<b>18,833</b>	<b>19,471</b>	為替換算調整勘定	10	15
			<b>非支配株主持分</b>	<b>23</b>	<b>23</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>11,736</b>	<b>12,165</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>18,833</b>	<b>19,471</b>

### 利益分配に関する基本方針

利益分配につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけ、業績に応じた成果分配を目指しております。2020年12月期の中間配当金は1株当たり35円、期末配当金は35円（予想）となります。

#### 2020年12月期配当(1株当たり)

	中間配当	期末配当(予想)
1株当たり配当金	35円	35円



## 四半期連結損益計算書(要旨)

(百万円)

区 分	前第2四半期 (2019年1月1日から 2019年6月30日まで)	当第2四半期 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)	前期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
<b>Point 1</b> 売上高	16,589	17,483	36,371
売上原価	12,291	13,274	27,173
売上総利益	4,297	4,209	9,197
販売費及び一般管理費	2,653	2,423	5,183
<b>Point 2</b> 営業利益	1,644	1,785	4,014
営業外収益	72	390	148
営業外費用	23	36	64
<b>Point 2</b> 経常利益	1,692	2,139	4,098
特別利益	100	100	200
特別損失	1	79	0
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,790	2,160	4,297
法人税、住民税及び事業税	604	864	1,428
法人税等調整額	△19	△131	△42
四半期(当期)純利益	1,206	1,427	2,911
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	0	0	3
<b>Point 3</b> 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,206	1,426	2,908

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(百万円)

区 分	前第2四半期 (2019年1月1日から 2019年6月30日まで)	当第2四半期 (2020年1月1日から 2020年6月30日まで)	前期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	612	1,321	3,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157	△149	△264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△430	△1,805	△1,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△11	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12	△643	1,515
現金及び現金同等物の期首残高	5,406	6,921	5,406
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,418	6,277	6,921

### Point 1 売上高

アウトソーシングサービス事業において、技術者数が増加し、契約単価も引き続き上昇した結果、売上高は前年同期比5.4%増の174億83百万円となりました。

### Point 2 営業利益／経常利益

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う販管費の削減により、営業利益は同8.6%増の17億85百万円、経常利益は一部技術者の休業に伴う雇用調整助成金収入も加わったことから、同26.4%増の21億39百万円となりました。

### Point 3 四半期(当期)純利益※

コロナ禍の株価下落に伴う投資有価証券評価損により、四半期純利益は同18.3%増の14億26百万円となりました。

※四半期(当期)純利益

…親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

## 会社概要

商号 株式会社アルプス技研  
 英訳名 Altech Corporation  
 本社 〒220-6218 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号  
 クイーンズタワーC 18階  
 TEL.045-640-3700(代表)  
 アルプス技研第1ビル  
 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本五丁目4番12号  
 アルプス技研第2ビル  
 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番18号  
 創業 1968年7月  
 設立 1971年1月  
 資本金 23億4,716万円  
 拠点 国内28拠点  
 (営業所、ものづくりセンター室、分室)

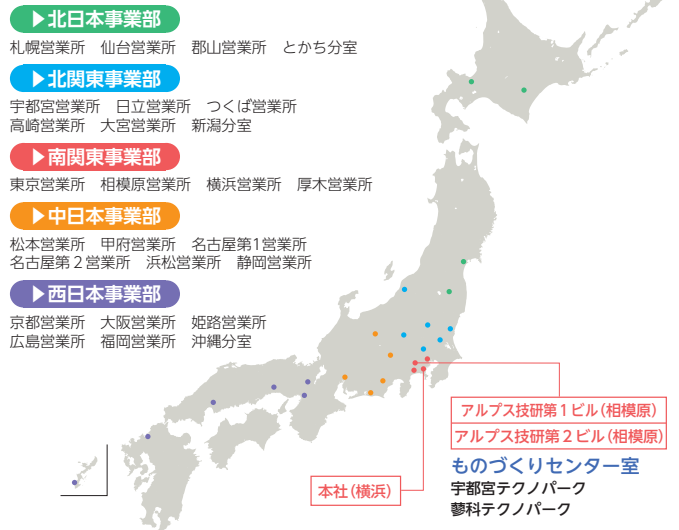
■ 創業者 最高顧問 松井 利夫

## 取締役・監査役及び業務執行役員 (2020年9月1日現在)

代表取締役社長	今村 篤	業務執行役員	須藤 泰志
常務取締役	渡邊 信之	業務執行役員	田代 和典
取締役	河野 晶	業務執行役員	石橋 武
取締役(社外)	田辺 恵一郎	業務執行役員	杉本 猛
取締役(社外)	野坂 英吾	業務執行役員	清水 立志
取締役(社外)	呉 雅俊	業務執行役員	牧野 華苗
常勤監査役	石井 忠雄	業務執行役員	市村 貴彦
監査役(社外)	賀谷 浩志	業務執行役員	新谷 雅司
監査役(社外)	加藤 勝男	業務執行役員	須貝 昌志
補欠監査役	甘粕 潔		

(注) 1. 取締役のうち、田辺恵一郎氏、野坂英吾氏、呉雅俊氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
 2. 監査役のうち、賀谷浩志氏、加藤勝男氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 国内拠点 (28拠点)



## 国内グループ会社 (4社) ※連結

### (株)アルプスビジネスサービス

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番18号  
 アルプス技研第2ビル6F TEL.042-774-3339

・技術職・事務職の人材派遣業務、技術者等の職業紹介事業、社員教育事業

### (株)パナR&D

〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番3号タゴシンビル6F  
 TEL.03-5467-5611

・技術職の人材派遣業務、設計開発の請負、受託

### (株)アグリ&ケア

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番18号  
 アルプス技研第2ビル4F TEL.042-738-2955

・農業分野へのアウトソーシング事業、介護分野へのアウトソーシング事業

### (株)デジタル・スパイス

〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀1821番地松木ビル2F  
 TEL.0266-56-2266

・ソフトウェア開発、設計・製造、技術者派遣

## 関連会社 (1社)

### (株)DONKEY

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本五丁目4番21号  
 さがみはら産業創造センターSIC-1 1103 TEL.042-703-0235

・自律多機能型ロボットの研究開発～販売、データ活用サービスの提供

## 海外拠点



## ① ヤンゴン支店

Room (605), 5th Floor, Building(11), Myanmar ICT Park,  
Universities' Hlaing Campus, Hlaing Township, Yangon.

・ミャンマー国内における人材育成事業・エンジニアリングサービス事業等

## 海外グループ会社 (2社)

② 臺灣阿爾卑斯技研股份有限公司 台湾アルプス技研  
台北市松江路146-5 TEL.886-2-2531-9933

・各種プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス  
・総合人材サービス

③ 阿遼貝司機電技術(上海)有限公司 アルテック上海  
上海市静安区万航渡路 83号 金航大廈 1102室  
TEL.86-21-6136-3802

・各種プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス  
・技術人材ソリューション

## 提携会社 (1社)

④ 阿爾卑斯科技(青島)有限公司 アルテック青島

・技術者の養成・教育/研修、採用コンサルティング・受託型ソリューション

## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 42,900,000株

発行済株式の総数…………… 24,746,675株

株主数…………… 8,352名

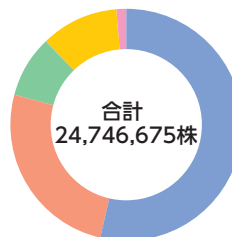
## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
アルプス技研従業員持株会	1,421,331	6.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,305,600	6.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	995,900	4.86
公益財団法人とかち財団	748,000	3.65
株式会社東邦銀行	736,929	3.60
株式会社横浜銀行	725,907	3.54
松井利夫	436,288	2.13
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	411,430	2.01
株式会社八十二銀行	382,410	1.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	347,000	1.69

注) 1.当社は、自己株式を4,287,637株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。また、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 所有者別株式分布状況



個人・その他	13,307,022株 / 53.77%
金融機関	6,319,323株 / 25.53%
その他国内法人	2,149,503株 / 8.68%
外国人	2,655,285株 / 10.72%
証券会社	315,542株 / 1.27%

# 株式会社デジタル・スパイス



機械、電気・電子、ソフトウェアの受託業務、技術者派遣で約20年の実績を持つ（株）デジタル・スパイスが当社の連結子会社となりました。高い技術力を持つプロ集団として、ものづくりを支援してまいります。



表紙右上写真:自律多機能型農業ロボットDONKEY (ドンキー)

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
期末配当金受領株主確定日 12月31日  
中間配当金受領株主確定日 6月30日  
定時株主総会 毎年3月  
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社  
同 連 絡 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
TEL.0120-782-031 (通話料無料)  
○インターネットによるダウンロード  
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
TEL.0120-232-711 (通話料無料)  
(郵送先)  
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
1単元の株式数 100株  
公告の方法 電子公告により行います。  
<https://www.alpsgiken.co.jp/ir/index.shtml>  
やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (株式に関する手続き)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式会社アルプス技研

〒220-6218 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号  
クイーンズタワーC 18階 TEL.045-640-3700 (代表)  
<https://www.alpsgiken.co.jp/>

お問合せ先 経営企画部 IR課  
E-mail : [ir-kouhou@alpsgiken.co.jp](mailto:ir-kouhou@alpsgiken.co.jp)



アルスクン

### 当社公式キャラクター

「アルス」:  
ラテン語で「技術・才能」

UD FONT

